



2019年10月23日

各 位

会 社 名 **株式会社 ティビィシー・スキャット**  
 代 表 者 代表取締役社長 安田 茂幸  
 (コード：3974 東証 JASDAQ)  
 問 合 せ 先 取締役  
 経営管理本部長 森 信文  
 (TEL：03-5623-9670)

## 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2018年12月11日に公表いたしました連結業績予想を、以下のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 2019年10月期通期連結業績予想数値の修正（2018年11月1日～2019年10月31日）

(単位：百万円、%)

|                           | 売上高   | 営業利益  | 経常利益  | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株あたり当期純利益 |
|---------------------------|-------|-------|-------|-----------------|------------|
| 前回発表予想 (A)                | 2,782 | 187   | 187   | 116             | 80円34銭     |
| 今回修正予想 (B)                | 2,759 | 238   | 238   | 155             | 107円82銭    |
| 増減額 (B-A)                 | △23   | 51    | 51    | 39              | —          |
| 増減率 (%)                   | △0.8% | 27.3% | 27.3% | 33.6%           | —          |
| (ご参考) 前期実績<br>(2018年10月期) | 2,639 | 173   | 176   | 109             | 75円97銭     |

#### 2. 業績予想修正の理由

2019年10月期第4四半期の業績において、主力の美容 ICT 事業は消費増税対応で、小規模店の買替えは前回予想を大きく上回りましたが、競合対策もあり売単価が下がり、売上高は前回予想に届かない見通しです。一方、付加価値率の高いソフトウェアカスタマイズ案件や、システム保守、WEBコンテンツ (ASP) などは年間を通じて増加しており、売上総利益率が上昇しています。

介護サービス事業は、年間を通じて高い入居率を維持していますが、入居者の平均介護度が下がっているため平均売単価が低下し、売上高は前回予想を下回る見通しです。

以上の結果、2019年10月期通期の業績見通しは、売上高は前回予想を若干下回る見通しです。

一方、売上総利益率の上昇により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益について前回予想を大きく上回る見通しになりました。

以 上

※) 上記に記載した業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。